

本日は、このような素晴らしい式典を開催していただき、誠に有難うございます。

みなさんが中学校を卒業してから5年という月日が経ちましたが、この5年間は激動の日々でした。特に2020年のことは忘れてはいけません。中学校卒業の卒業式にはマスク着用、高校を入学して直ぐに緊急事態宣言が発令され学校に登校できない日々が続き、何気ない日常が突然、失われました。このときに抱いていた想いを今でも忘れていません。それは中学校は楽しかった、中学校に戻りたい、ということです。素晴らしい友達や先生に恵まれ、楽しかった日常を懐かしく、恋しく感じました。

緊急事態宣言が終わった後の生活も多くの制限があり、毎日が苦しかったです。このコロナ渦で強く感じたことは「周りの人々の支えがあって私たちは成長している」ということです。私たちはあっという間に20年間を生きてきましたが、まだまだ人生は先の方が長いです。生きていけばそれぞれ壁が立ちはだかるでしょう。しかし、人間は決して1人では生きていけません。そして、私たちの周りの家族や友達は絶対に味方です。頼ることは悪いことではありません。私たちは頼りつつ、自分の力でその壁を乗り越えて、人としての成長にも繋げていくことができると信じています。これからも仲間と互いに助け合い、今後続いていく人生を明るい方へ一歩一歩着実に歩み続けていきます。

結びになりますが、開催に際しましてご尽力くださいました方々、また、これまで支えてくださったたくさんの方々への感謝の気持ちを忘れず、これから進む成人としての決意と責任を胸に、支えてくれる人との繋がりを大切にしながら精進していくことをここに誓い、二十歳のメッセージとさせていただきます。

2025年1月13日
朝霞第一中学校卒業 竹沢 結貴